

夢を形にする 挑戦の舞台!



事業化支援プログラムを提供

上位受賞者には活動支援金と

Tongali

ビジネス プラン コンテスト

2025

参加者
募集

海外にチャレンジする
チャンスも!

決勝
ファイナル

2025.6.21 SATURDAY
12:30-19:00

デザインホール
名古屋市中区栄3丁目18-1

19:00-20:00
来場者交流会(予定)

準決勝
セミ
ファイナル

2025.5.31 SATURDAY
13:00-17:00

名古屋大学東山キャンパス
ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)
名古屋市中千種区不老町

参加資格

大学生・大学院生(含む社会人学生)・ポストドクター・中学生・高校生
※個人でもチームでも応募可能。
※応募時点で起業していないこと。
※準決勝(セミファイナル)及び決勝(ファイナル)に全日参加可能であること。

賞(予定)

最優秀賞100万円を含む総額280万円の活動支援金及び
事業化支援プログラム、海外チャレンジ賞(11月中下旬:フィンランド研修)、
各サポーター企業賞、NICT賞

応募方法

応募の詳細については、こちらの
WEBをご確認ください。

<https://tongali.net/biz-contest2025/>

〔応募締切〕2025年5月19日(月)正午まで



お問い合わせ

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
スタートアップ推進室 Tongali事務局

〒464-8601 名古屋市中千種区不老町

TEL 052-747-6490 E-mail tongali@aip.nagoya-u.ac.jp URL <https://tongali.net/>



主催/Tongali(主幹機関:名古屋大学、共同機関:豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立芸術大学、
椋山女学園大学、愛知県立大学、光産業創成大学院大学、南山大学、静岡大学、浜松医科大学、豊田工業大学、金城学院大学、静岡理工科大学、中部大学、名古屋外国語大学、静岡県立大学、
名古屋経済大学、名古屋国際工科専門職大学、名古屋商科大学、日本福祉大学)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START)大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援

大学生・大学院生(含む社会人学生)・
ポストドクター・中学生・高校生の
個人でもチームでも応募可能。

※応募時点で起業しておらず、準決勝・決勝に全日参加可能であること。

応募の詳細については、こちらの
WEBをご確認ください。
<https://tongali.net/biz-contest2025/>

〔応募締切〕2025年5月19日(月)正午まで



コンテスト スケジュール

2025. 5月19日(月)	応募締切(正午まで)	募集ページから申請書をダウンロードし、必要事項を記載の上、応募してください。
2025. 5月23日(金) を目途	予選(書類審査)結果通知	全ての応募者に予選(書類審査)の結果を連絡します。予選通過者には、準決勝(セミファイナル)の発表時間・場所をメールにてご連絡します。
2025. 5月31日(土)	準決勝(セミファイナル)	準決勝(セミファイナル)の結果は、翌営業日以降にメールにてご連絡します。
2025. 6月21日(土)	決勝(ファイナル)及び授賞式	デザインホールにて開催し、当日中に結果発表・授賞式を行います。

コンテスト後 スケジュール

2025. 6月24日(火) 12:00-13:00	活動支援金説明会 (税金セミナー)※オンライン開催	Tongali賞受賞チームに、活動支援金が授与されます。活動支援金に関する留意事項や事後報告に関する説明を行います。
2025. 7月下旬 (予定)	活動支援金振込 (入金)	登録いただいた口座へ入金します。
2026. 1月or2月 ※詳細は、後日案内	Tongali Demo Day	VCや事業会社等に向けて、ビジネスプランコンテスト後のビジネスプランや進捗報告を行っていただきます。

審査基準

- 熱意・経営者力 ▶ 発表者のキャラクター性及びプランに対する熱意や想いがあるかどうか
- 独自性 ▶ 独自の着眼点や工夫があり、新たなニーズを掘り起こすことができるか
- 市場優位性 ▶ 競合との差別化、市場での優位性はあるかどうか
- 成長性 ▶ ビジネス及び市場に将来性があり、国内外での成長が期待できるかどうか
- 収益性 ▶ ビジネスモデル、収益計画が妥当かどうか
- 実現性 ▶ 事業を進める体制・市場に受け入れられる根拠があるか

留意事項

- ・代表者やメンバーが同一であったとしても、提案するビジネスプランの内容が異なる場合、複数応募を可能とする。
- ・予選通過後の辞退は認めない。予定を十分に確保した上で応募すること。
- ・Tongali賞(上位5チーム)受賞チームは、後日実施する事業化支援プログラム※1及びTongali Demo Day※2へ、必ず参加しなければならない。(Tongali事務局が「定期考査等やむを得ない事情がある」と判断した場合はこの限りではない。)
- ※1: 詳細はエントリーページ「事業化支援プログラム「リーンローンチパッド名古屋」について」を要確認
- ※2: 2026年1月又は2月に開催。詳細は後日案内。
- ・本コンテストに応募するビジネスプランについて、他者の知的財産権を侵害していないことを十分に確認すること。
- ・他者の著作権等の知的財産権を侵害し問題が生じた場合の責任は、応募者に帰属する。主催は関与しない。
- ・大学等における研究成果等をもとに応募する場合は、当該研究者又は所属大学の産学連携推進部門等に予め相談すること。
- ・公序良俗の観点から適当でないと判断されたビジネスプランの評価は行わない。
- ・本コンテストに応募することは、これら全ての留意事項を確認し、同意したものとみなす。

